

生ごみからキレイな花壇を

～都営金森第6桜自治会の取り組み～

都営金森第6桜自治会(金森チェリーガーデン)では、生ごみ処理機からできた「生ごみたい肥のもと」を利用した花壇づくりを行っています。毎年、春と秋にはキレイなお花を咲かせ、「花壇コンクール」で入賞もしています。



地域で利用している大型生ごみ処理機



「生ごみたい肥のもと」を土と混ぜて利用



「いつもきれいな花を咲かせてくれてありがとう」と声をかけられ、好評です

「花壇コンクール」が終わると、住民の方が持ち帰って切り花として利用しています



生ごみたい肥のもとを利用してこんな素敵な花壇ができるんだね。

「生ごみたい肥のもと」は花壇や畑で利用でき、ごみの減量にもつながるんだ。市では、この大型生ごみ処理機を無料で貸し出しているよ。



大型生ごみ処理機をご利用いただくには

- ・10世帯以上で構成される団体(学校や事業所は除く)
- ・設置場所を無償で市に貸与できること
- ・5年以上使用すること
- ・生ごみ処理機からできる「たい肥のもと」を地域で使用すること

エコバックちゃんのこれってどうなの？

Vol.12

「生ごみって減らせるの？」の巻



第2弾 市民からのごみ減量アイデア

ご紹介した方には里帰りトイレットペーパー12個をプレゼントします。

市民の皆さんから送っていただいたアイデアの中から、ご家庭ですぐにできそうなちょっとした工夫や取り組みなどをご紹介します。また、年間を通じてアイデアを募集しています。アイデアの内容・住所・氏名・電話番号を明記し3R推進課アイデア募集担当へ(送り先は 〒194-0202 町田市下小山田町3160番地へ、はがき等で郵送するかまたはFAX 042-797-5374に送って下さい)

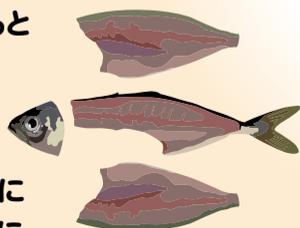


相原町 Hさん

じょうぶそうな段ボールをたんすにリサイクルして引き出しも作り少しだけ部屋の収納になりました。

大蔵町 Kさん

ティッシュペーパーは使わずトイレットペーパーを使用しています。野菜も魚もスーパーで声をかけると不要な葉や魚の頭やしっぽは切り取ってくれます。生ごみは出さないように食事は8分目で作り残さないようにするのがコツです。後は資源ごみに分ければ家のごみは月1回で十分です。



高ヶ坂 Iさん

ペットボトルはキャップをゆるめてつぶして空気を抜いてからキャップを閉めて半日から1日位おいてキャップを外すとボトルは潰れたまになる。各家庭にこのことを奨励すれば回収時は空気を運ばないで済む。

玉川学園 Tさん

庭の雑草や草花は、ビニール袋に收容して枯らした後、短く切って土に戻すとごみも出ず肥料の一助ともなります。毎年、風知草などは晩秋に枯れた後短く切って土に戻します。

